

平成28年8月10日公表
水産庁漁政部加工流通課

冷蔵水産物流通統計

(全国主要冷蔵庫)

平成28年6月分

2 主要品目別月末在庫量の上位7市町（平成28年6月分）

品目	1 位		2 位		3 位	
	市町名	在庫量	市町名	在庫量	市町名	在庫量
水産物計	東京都区部	158 959	福岡市	72 240	大阪市	51 618
生鮮品	ひたちなか市	595	名古屋市	245	下関市	71
冷凍品	東京都区部	138 336	福岡市	57 736	大阪市	46 968
まぐろ	焼津市	21 153	静岡市	13 078	三浦市	2 137
びん	焼津市	5 476	静岡市	1 230	気仙沼市	667
めばち	静岡市	4 565	焼津市	3 522	三浦市	1 896
き	焼津市	9 164	静岡市	2 571	枕崎市	554
くろまぐろ	焼津市	1 942	静岡市	1 922	福岡市	80
みなまぐろ	静岡市	875	焼津市	713	福岡市	24
その他のまぐろ	静岡市	1 915	大阪市	765	東京都区部	600
かじ	焼津市	1 262	静岡市	711	三浦市	309
かつ	枕崎市	7 526	焼津市	6 130	指宿市	5 489
さけすし	東京都区部	22 943	仙台市	7 281	川崎市	6 470
にし	東京都区部	11 997	福岡市	451	川崎市	204
いわし	小樽市	2 323	留萌市	1 714	札幌市	1 058
ま	神栖市	4 648	銚子市	3 001	長崎市	2 848
さい	神栖市	4 540	銚子市	2 595	福岡市	1 257
その他のいわし	長崎市	1 726	鹿児島市	1 228	下関市	1 122
まさば	沼津市	12 565	唐津市	4 299	東京都区部	2 936
さ	銚子市	18 660	石巻市	7 811	八戸市	6 673
か	気仙沼市	2 356	白糠町	2 131	釧路市	2 026
れい	東京都区部	4 493	女川町	1 456	仙台市	1 424
たけとうだ	東京都区部	2 478	石巻市	767	塩釜市	587
すけとうだ	八戸市	1 881	留萌市	787	東京都区部	644
その他の魚	東京都区部	1 393	塩釜市	1 284	名古屋市	414
貝	福岡市	31 158	大阪市	20 466	東京都区部	17 106
えび	東京都区部	12 004	青森市	3 819	広島市	3 578
い	東京都区部	24 517	大阪市	9 137	川崎市	6 085
するめいか(まついか)	東京都区部	7 313	八戸市	6 848	函館市	4 527
こういか(もんごういか)	八戸市	4 877	函館市	3 739	福岡市	594
その他のいか	東京都区部	1 698	大阪市	1 582	川崎市	510
たけとうだ	東京都区部	5 137	八戸市	1 971	神戸市	1 925
その他の水産動物	東京都区部	8 065	下関市	1 457	大阪市	1 056
くすけとうだ	東京都区部	10 285	福岡市	3 078	大阪市	2 546
すけとうだ	下関市	798	東京都区部	341	大阪市	147
その他のすり身	下関市	6 911	川崎市	5 224	紋別市	2 604
その他のすり身	下関市	5 900	神戸市	3 011	新潟市	2 778
塩蔵品	福岡市	11 620	東京都区部	7 692	白糠町	6 448
さけすし	東京都区部	791	根室市	573	名古屋市	358
またす	八戸市	198	東京都区部	151	青森市	58
たけ・ますの	福岡市	8 546	白糠町	5 753	東京都区部	1 176
さけ・ますの	東京都区部	1 537	白糠町	637	横浜市	568
かすのこ	留萌市	1 134	東京都区部	679	函館市	539
その他の塩蔵品	名古屋市	5 214	東京都区部	3 358	福岡市	2 885
水産加工品	東京都区部	12 931	焼津市	10 868	神戸市	5 028

注：調査市町の範囲は平成28年1月1日現在のものであり、それ以降に合併が行われた市町については旧市町を調査範囲としている。
 釧路の「すけとうだすり身」は、個々の秘密に属する事項を秘匿するため、統計数値を公表しないものとする。

単位：t

4 位		5 位		6 位		7 位	
市町名	在庫量	市町名	在庫量	市町名	在庫量	市町名	在庫量
焼津市	45 478	下関市	37 406	川崎市	29 476	神戸市	29 154
福岡市	68	川崎市	48	札幌市	48	釧路市	31
焼津市	34 218	下関市	33 651	川崎市	26 196	八戸市	25 904
気仙沼市	1 020	東京都区部	818	指宿市	807	大阪市	765
銚子市	400	石巻市	163	神栖市	80	仙台市	20
福岡市	289	東京都区部	186	指宿市	177	気仙沼市	130
気仙沼市	219	三浦市	196	いわき市	122	指宿市	103
名古屋市	19	川崎市	11	いわき市	11	金沢市	3
いわき市	17	川崎市	13	名古屋市	1		-
指宿市	527	焼津市	336	名古屋	234	船橋市	222
気仙沼市	132	東京都区部	105	千葉市	45	金沢市	40
境港市	570	気仙沼市	404	石巻市	180	静岡市	144
船橋市	5 140	小樽市	4 741	白糠町	3 166	大阪市	2 232
八戸市	157	札幌市	103	仙台市	61	名古屋	61
東京都区部	1 023	函館市	928	釧路市	907	白糠町	695
福岡市	2 166	鹿兒島市	1 633	唐津市	1 610	佐世保市	1 351
長崎市	1 122	境港市	1 117	唐津市	1 083	石巻市	920
福岡市	909	唐津市	527	佐世保市	458	銚子市	406
境港市	1 437	福岡市	1 289	長崎市	1 272	静岡市	1 069
東京都区部	6 421	唐津市	6 180	下関市	5 524	神栖市	5 033
女川町	1 886	銚子市	1 678	大船渡市	1 553	石巻市	1 291
石巻市	1 079	塩釜市	1 015	福岡市	693	大阪	627
福岡市	371	大阪	210	小樽市	205	船橋市	192
石巻市	393	小樽市	286	紋別市	258	下関市	247
沼津市	390	福岡市	337	長崎市	204	石巻市	159
神戸市	8 636	下関市	7 610	仙台市	7 486	船橋市	3 903
八戸市	3 255	小樽市	2 817	福岡市	1 829	下関市	1 296
名古屋	4 868	福岡市	3 585	神戸市	2 541	札幌市	729
大阪	3 300	福岡市	2 181	神戸市	2 166	川崎市	1 372
気仙沼	563	石巻市	494	東京都区部	478	白糠町	400
新潟	280	静岡市	183	神戸市	182	名古屋	139
福岡	1 536	大阪	1 340	川崎市	834	ひたちなか	691
ひたちなか	873	白糠町	732	小樽市	619	福岡市	404
名古屋	1 727	札幌市	1 150	神戸市	1 079	川崎市	1 075
長崎市	117	佐世保市	63	船橋市	57	函館市	55
釧路市	X	神戸市	2 146	東京都区部	1 468	新潟市	1 404
福岡	2 646	名古屋	2 508	長崎市	1 460	仙台	1 293
名古屋	5 763	横浜市	2 176	気仙沼	2 067	船橋市	1 638
船橋市	319	仙台市	309	札幌市	250	金沢市	224
金沢市	58	仙台市	23	焼津市	13	白糠町	12
小樽市	1 090	北九州	952	下関市	893	釧路市	267
気仙沼	332	船橋市	258	青森市	200	札幌	151
札幌	361	小樽市	334	横浜市	191	青森市	143
気仙沼	1 686	横浜	1 386	大阪	1 017	金沢市	1 013
石巻	4 138	境港市	3 446	大阪	3 443	川崎市	2 850

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、全国の冷凍・冷蔵工場における水産物の入在庫量、在庫量等を調査し、水産物の在庫の動向を明らかにして、水産物の需給計画、価格安定対策等を推進するための資料とすることを目的とする。

2 調査の対象

全国の産地40市町及び消費地14市区町を調査の範囲とし、これらの調査市区町の主機10馬力以上の冷蔵能力をもつ冷凍・冷蔵工場のうちから、累積冷蔵能力80%に達するまでの工場を選定して調査しており、平成28年6月現在の回答工場数は519で、うち震災の影響で29工場が休止している。(平成21年当初(651工場)と比較して約84%の冷蔵能力を対象としている。)

3 調査方法

調査方法は、オンラインによる調査協力者の自計調査、又は調査票の郵送による。

4 集計方法

月間入庫量及び月間出庫量についてはそれぞれの積上げ、月末在庫量については、前月月末在庫量に月間入庫量を加え、月間出庫量を差し引いて算出している。

5 目標(実績)精度

この調査においては、目標精度は設定していない。

6 用語の解説

(1) 月間入庫量及び月間出庫量の「対前月比」

$$\frac{\text{当月調査分の月間入庫量及び月間出庫量}}{\text{前月調査分の月間入庫量及び月間出庫量}} \times 100$$

このため、調査対象工場の変更があった場合には、その変更による増減が含まれる。

(2) 月末在庫量の「対前月比」

$$\frac{\text{当月調査分の月末在庫量}}{\text{当月調査分の前月月末在庫量}} \times 100$$

なお、調査対象工場の変更があった場合には、当月調査分の前月月末在庫量と前月調査分の月末在庫量は一致しない場合がある。

(3) 月間入庫量、月間出庫量及び月末在庫量の「対前年同月比」

$$\frac{\text{継続工場分の当月月間入庫量、月間出庫量及び月末在庫量}}{\text{継続工場分の前年同月月間入庫量、月間出庫量及び月末在庫量}} \times 100$$

7 その他

この統計調査結果の数値は概数であり、確定値は追って刊行する『水産物流通統計年報』に掲載する。

問い合わせ先

水産庁漁政部加工流通課 企画調査班
電話：03(3591)5612
(一社)漁業情報サービスセンター
生産流通部 流通情報グループ
電話：03(5547)6887